

森 りょうじ

森
が
動
く。



流山市議会議員

討議資料

私の4期目の活動目標の一つが“地域でイノベーションを起こすこと”です。簡単に言えば、人と人（企業含む）を結び付け、新たな価値を生み出し、変革を起こすことです。昨年末は東京理科大学で教授・研究者向けに「産学連携」のテーマで講義をさせて頂きました。今後の動向にご期待下さい！

令和2年1-3月号 森りょうじ リポート。(99号)

～ 森が動く、皆さんと一緒に動く。～

清々しく新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。幸多き一年となりますようお祈り申し上げます。

■公約実現への一步。(定例会ダイジェスト)

令和元年第4回定例会(11/28～12/18)の一般質問では、大きな前進がありました。一つは不登校やいじめ問題への対応強化に繋がる『市独自のスクールソーシャルワーカーの設置』、二つ目は以前より提言をしてきた『防犯カメラ設置を行なう自治会への助成』です。防犯カメラの設置助成は、市民の皆様がまちづくりで最も期待する分野(安心・安全で快適に暮らせるまち)でもあり、大きく寄与することを期待しています。

また特筆すべき内容としては、今後10年間(令和2年～11年)のまちづくりの理念や基本政策を定めた新しい総合計画が正式に決定したこともあります。計画の実現に向け市民・議会・行政が一丸となって取り組むことが期待されています(詳細は裏面で特集)。



■陳情・市民相談に応じています。※一部抜粋

- ① 特別支援学校生の登下校をしやすい環境づくり
- ② 医療系講演会(2/2inスタートおたかの森ホール)のサポート

■ご案内(森から皆さまへ)

- ① 令和2年第1回定例会の日程案は2/20-3/23です。
- ② 次回の駅活動は令和2年4・5月に実施予定です。

○1976年6月12日流山生まれ(43歳) ○家族:妻

※サラリーマン家庭(父はNTTに勤務)で育つ

流山市立新川小、流山市立北部中卒業

日本大学第一高校、武蔵大学経済学部卒業

○2000年4月 大成建設株式会社に入社(管理部ほか)

○2003年4月 流山市議会議員に初当選(2,692票)

○2011年4月 流山市議会議員二期目当選(4,508票)

○2015年4月 流山市議会議員三期目当選(5,830票)

○2019年4月 流山市議会議員四期目当選(8,961票)

※政治理念はケネディ大統領の「国が何をしてくれるかではなく、自分が国のために何ができるか」。

森が動く。①

【新しい総合計画が決定！】※表面より

計画なくして、行政は動かず…と言われるぐらい、行政が進めるまちづくりには「計画」の存在が不可欠です。その最上位に位置付けられる計画が総合計画（基本構想・基本計画）です。計画では目指すべきまちのイメージを「都心から一番近い森のまち」として、「健康・長寿」「良質な住環境」「子どもをみんなで育む」など6つの基本政策を位置付けています。なお計画の具現化に向けて、私が力を入れたい3点を紹介します。



① 機能的な組織と人材育成（構想の基本方針）

国や県と同様に、市役所においても経験豊富な幹部・ベテラン職員の大量退職が続いています。またバブル不況後に一時的に職員採用を絞った時期があり、職員構成の中間層でもある40代の中間管理職世代の職員数が少なくなっています。その結果として技術や専門知識の継承が難しくなっており、対策を求めています。計画への位置付けはありませんが、専門性を高めることは質の高い行政サービスを提供することにも繋がるため、今後も継続的に提言をしていきます。

② 円滑に移動できる道路整備（施策の展開）

人口増や流山 I.C 周辺の大型物流施設建設に伴い市内の交通量が増大しており、都市軸道路の整備とともに、既存道路の強化も求められています。「流山 I.C 機能の拡充」「新川耕地の旧有料道路の4車線化」は必須であり、その方向性が計画に盛り込まれました。

③ 公共交通ネットワークの充実（施策の展開）

超高齢社会に対応した新たな移動手段の確保が求められています。来年からは個別計画の策定に取り組む予定であり、議会として“実効性のある計画づくり”を行政に求めていきたいと思えます。（次号で特集予定）

WebSite「森りょうじ」を検索！
また Twitter・Facebook も更新中！

森が動く。②

【子どもたちに寄り添う、学校現場へ。】

今定例会では、一部報道のあった『いじめ問題』に関する議論が多くありました。その中では教育現場が抱える問題や組織的な課題などを感じました。これは本市のみならず、全国的な課題であるとも言われています。なお再発防止は喫緊の課題でもあり、対策の一つとなりうる『市独自のスクールソーシャルワーカー（以下SSW）の設置』を以前より求めてきたところ、ようやく実現する運びとなりました。

スクールソーシャルワーカーとは？

不登校、発達上の課題、家庭環境の影響…子ども達を取り巻く環境は困難かつ複雑化しています。そこでこのような難しい課題に対しては学校がチーム（組織）となり対応していますが、教師が持つスキルだけでは解決出来ない課題も増えています。とくに家庭環境の課題に関しては「福祉的な側面」が強いことから、教師ではなく専門家（社会福祉士や精神保健福祉士など）による対応が不可欠となっています。その専門家をSSWと言います。近年は県レベルを中心に設置が進んでいますが、課題件数に対して圧倒的に数が不足している状況です。今回の質問では千葉県から配置されているSSWに加えて、市独自のSSW設置を求めました。

答弁では「県から派遣されているSSWにより、不登校であった生徒が再び登校できるようになった例など効果が出ている」と言ったような好事例が示されました。ただし現在のSSWは一人で流山・野田市の計56校を担当している状況です。そのため市独自のSSW設置を求めたところ「設置を進めていく」旨の方向性が示されました。児童生徒が急増する流山市。新年度からの設置に向け、行政を後押ししていきたいと思えます。



【事務所】流山市中野久木 559-2
TEL & FAX:7155-3236